

平成26年度 公共事業再評価調書

1. 再評価調書

(区分) 国補・県単

| | | | | | | | | |
|---|---|--------------------------------------|-------------|-------------|---|----------------------|-------------|-----|
| 事業名 | 道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)] | | 事業箇所 | 都留市金井～つる5丁目 | 地区名 | (一) 高畑谷村停車場線 (宝バイパス) | 事業主体 | 山梨県 |
| | 当初計画 | 現計画 | 今回見直し予定 | | 再評価時の評価状況 なし | | | |
| 計画期間 | H16年度～H26年度 | - | H16年度～H28年度 | | | | | |
| 総事業費 | 2,000百万円 | - | 2,140百万円 | | | | | |
| (1) 事業の概要 | | | | | | | | |
| 事業目的及び効果 県道高畑谷村停車場線は、都留市中心部と都留市大幡地区及び県道大幡初狩線を経由し、大月市並びに国中地方とを結ぶ地域幹線道路であり、通勤路や生活道路として重要な路線である。当路線のうち、都留市大幡から金井地区にかかる 期工区 (延長約2,700mの区間) については、平成23年3月に供用開始している。 残る延長約700mの当該区間の現道は幅員狭小で歩道もなく、また一級河川桂川に架かる院辺橋は、昭和34年に架設された鋼製トラス橋で老朽化し「山梨県橋梁長寿命化実施計画」において対策が必要な橋梁に指定されており早急な対応が求められている。 | | | | | (2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] | | | |
| 事業概要 道路規格：第3種第3級 設計速度：V=50km/h 計画延長：L=700m 道路幅員：W=6.0(11.0) m 主要構造物：橋梁1橋、トンネル1箇所 (L=344m) | | | | | 地域・住民の意向状況 なし | | | |
| 全体計画 | | | | | 産業・経済情勢 宝バイパス 期工区 (都留市大幡～金井) が平成23年3月に供用開始し、同年8月には隣接する中央自動車道都留ICがフル化され、交通量が増加するとともに、沿線の宅地化等開発が進行しつつある。 | | | |
| | 平成25年度まで | 平成26年度 (評価実施年度) | 平成27年度以降 | | 国等の方針変更 なし | | | |
| 工事内容 | 測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 道路改良工事 橋梁下部工事 橋梁上部製作架設工事 トンネル工事 | 道路改良工事 橋梁床版工事 トンネル照明工事 舗装工事 | なし | | 上位計画・関連事業計画等の変更 「第二期チャレンジ山梨行動計画」(平成23年10月策定) 「山梨県社会資本整備重点計画-第二次-」(平成24年2月改定) 「山梨県橋梁長寿命化実施計画」(平成22年3月) | | | |
| 事業費 | 1,900百万円 | 100百万円 | 0百万円 | | 自然環境条件等の変化 なし | | | |
| 特記事項 宝バイパス 期工区 (都留市大幡～金井) L=2,700mは平成23年3月に供用開始している。 | | | | | その他 なし | | | |
| (3) 評価項目 [再評価時点の費用対効果分析] | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業採択時計画における事業全体B/C (16年度) 便益 (B) / 費用 (C) = 1.96 > 1.0 (全体工区) ・再評価時計画における事業全体B/C (26年度) 便益 (B) / 費用 (C) = 2.3 > 1.0 (期工区) 便益 (B) = 47億円 費用 (C) = 21億円 | | | | | | | | |

2. 再評価調書

(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]

計画変更等の概要

道路トンネル技術基準の改訂により、トンネル支保工等の設計見直しを行ったため、ロックボルトの長さを変更した。

(変更工事内容)

トンネル工ロックボルト延長

当初 L=3.0m 変更 L=4.0m

施工済みの事業内容

平成26年度までに以下の工事を発注

(完成済み)

橋梁下部工 1 基 (A1 橋台)

(H25 発注工事)

橋梁下部工 1 基 (A2 橋台) 工期 H26.3 ~ H27.3

道路改良工事 L=266m 工期 H26.3 ~ H26.11

(H26 発注予定)

橋梁上部工製作・架設工事 L=90m

トンネル掘削工事 L=344m

進捗率

| | *平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|
| 計 画 | 5.0 | 10.0 | 15.0 | 25.0 | 35.0 |
| 実 績 | 0.8 | 2.9 | 4.3 | 4.8 | 4.8 |

| | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 計 画 | 50.0 | 70.0 | 80.0 | 90.0 | 95.0 |
| 実 績 | 6.7 | 10.4 | 17.9 | 18.0 | 39.3 |

| | 平成26年度 | 算出方法 |
|-----|--------|--------------------|
| 計 画 | 100.0 | 計画事業費 / 総事業費 × 100 |
| 実 績 | 67.3 | 実施事業費 / 総事業費 × 100 |

*事業着手年度

H26の実績は見込み

事業の進捗が順調でない理由

トンネル坑口部に存在する、残る地権者1名について相続がなされておらず、法定上の相続人と実質的な土地の管理者が存在し、互いの主張に食い違いがあり用地交渉に不測の時間を要していたが、相続人と実質管理者双方の歩み寄りにより、土地を取得できる見込みがたった。

今後の事業執行上の問題点

トンネル坑口部に残る地権者1名について、土地を取得できる見込みとなったが、相続人が多数存在することから、土地取得、登記に至るための事務手続きに時間を要している。

今後の事業の進捗の見込み

交渉が難航していた土地取得の見込みが立ったことから、橋梁工事とトンネル工事の同時施工を検討するなど、早期の道路整備効果発現を目指し、事業期間の延伸を2箇年とし、平成28年度完了見込みである。

(今後の見通し)

橋梁上部工製作・架設工事 H26 ~ H27

橋梁床版工事 H27 ~ H28

トンネル掘削工事 H26 ~ H28

トンネル照明及び舗装工事 H28

供用開始予定 H28年度末

事業計画の変更の見込み・可能性

・総事業費の見直し

| 内容 | 事業費 |
|--------------------|----------|
| トンネル支保構造の変更に伴う工事費増 | 140百万円の増 |
| 合計 | 140百万円の増 |

(5) 評価項目 [環境への配慮]

環境への影響を考慮し、計画区間の約50%がトンネルとなっており、周辺環境に与える影響は極力小さくなっている。

(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性]

なし

(7) 評価項目 [代替案立案の可能性]

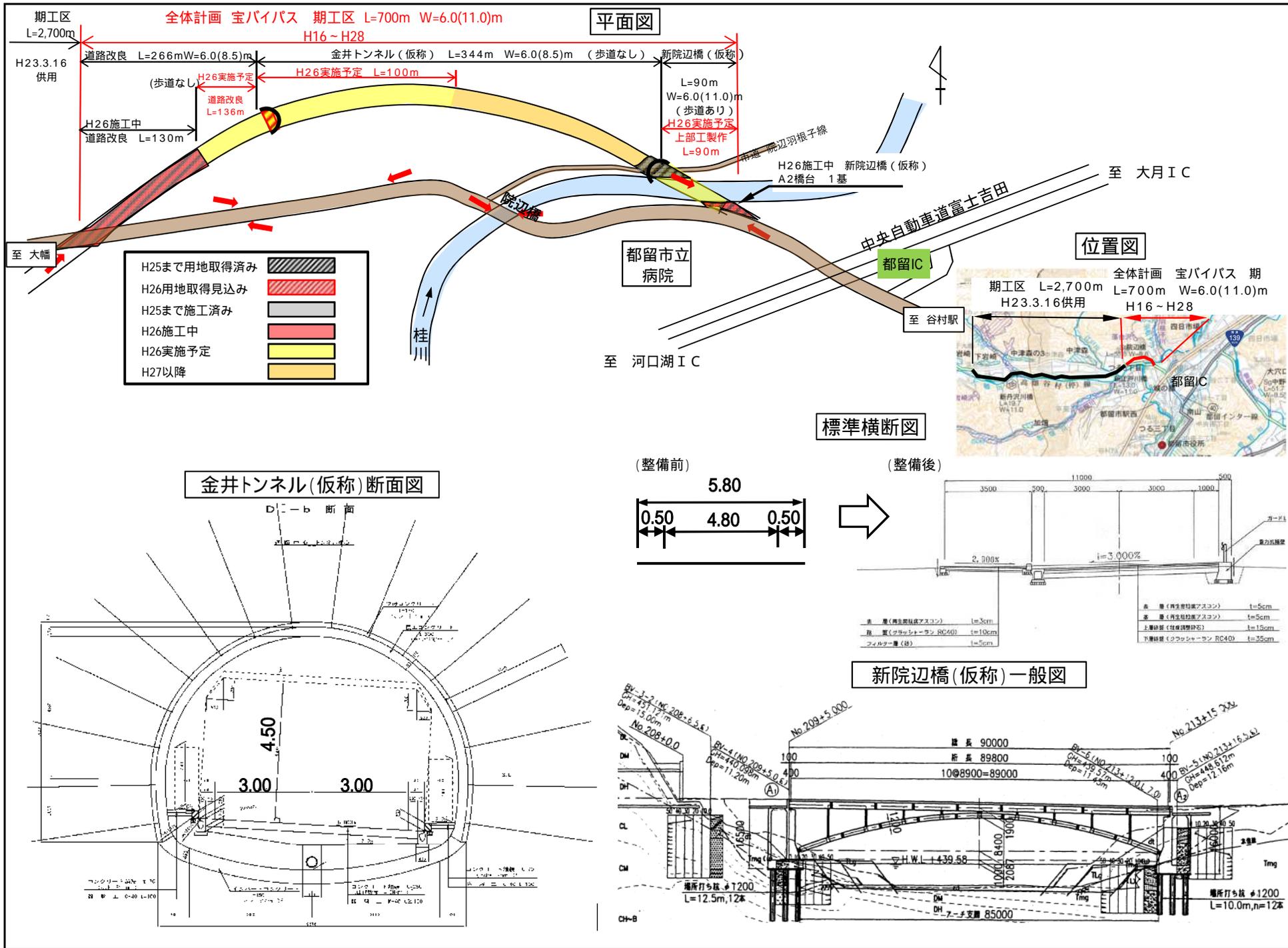
なし

(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続 その他 ()

(理由)

土地取得の見込みが立ったことから事業期間を2年延長し、平成28年度の完成を目指す。

3. 添付資料シート(1)



添付資料シート(2)

金井交差点から



新院辺橋左岸側橋台から



都留市立病院入り口交差点から



院辺橋(現橋)



院辺橋(現橋)



現道の状況



現道の状況



現道の状況



